

他の患者さんの手記を繰り返し読んだ方の手記。

心の持ち方次第で免疫力は上がります。

## 「普通に歩ける喜び（リウマチ手記）」

匿名希望 54 歳

2016 年 1 月 3 日

最初は、足の裏が痛む症状だけでしたが、徐々に痛む箇所が増え、いろいろな動作がぎこちなくなってきたので、2012年の4月に検査をしてもらったところ、リウマチと言われました。そしてリウマチ科を受診しましたが、先生は「お薬を出すので飲んでください。」の一言だけでした。

先生に「お薬は飲みたくない。」と伝えたのですが（叔母がリウマチで薬を飲んでも悪くなる一方で手術している姿を見ていたからです）、「今は良い薬がある。早い段階で治療しないと、近い将来寝たきりになり家族に負担をかけるよ。」と言われ、その言葉がいつも頭に浮かび不安になりました。

その後は病院に行かず、漢方医処方漢方薬を飲んだりしていましたが、リウマチは徐々に悪くなりました。筋力がなくなった体で自転車に乗り転倒、上腕を骨折してしまい、片手での生活になり、体重もリウマチ発症前より10kg近く落ちました。

2015年冬に、右手人差し指、中指の付け根あたりの骨が大きくなり、物が持ちにくくなりました。骨折のリハビリが落ち着いた2015年3月20日、妹と松本医院に行きました。診察は副院長先生が担当して下さいました。採血の時には院長先生が声をかけ、握手して下さいました。

1ヵ月程するとリバウンドが始まりました。左膝の腫れは10日程で治まりましたが、右膝の腫れは、最近まであり、両膝が悪い時はお風呂に入るのが大変でした。以前よりも痛みや腫れが強くなっても、“これはリバウンドだ”と理解して治療できているので、心が不安になることは、あまりなかったと思います。不安になった時は、皆さんの手記を読む事で助けられました。特に、安江幸代さんの手記をよく読みました。心の持ち方次第で免疫力が上がるのがわかる素晴らしい手記だと思います。

1年ほど前には、物を拾うのも、歩き出すのも、お布団を引っ張るのも大変で、当たり前と思っていたことが出来なくなっていました。現在は徐々に

来るようになってきており、喜びを感じています。本当にありがたいです。『自分の免疫が治す』、『漢方薬やお灸、漢方風呂、鍼はその手助けをするだけ』、『治すのは自分の免疫』、これらの言葉を心に刻みます。人と争うことを避け、内に秘め、ストレスを溜めやすい自分、今後はもっともっと楽しむ人生を歩んで行こうと思います。松本先生の治療が多くの人を受けられるよう、全国に広がっていくことを願います。